

歯科材料6 歯科用印象材料
管理医療機器 歯科用寒天印象材 35862000
ダンロイド ジェイ スペック

端をうまく穿孔しない物があるので、使用に際して、適合性を確認しておくこと。

【禁忌・禁止】

本材に対して発疹、皮膚炎などの過敏症の既往歴のある患者には使用しないこと。

【形状・構造及び原理】

形状：ゲル状

該当規格：JIS T 6512 [歯科用寒天印象材]、タイプ3

組成：寒天、精製水、着色材、防腐剤（原材料の一部に大豆を含む）、その他

原理：本材は可逆性の寒天を含有する印象材であり、加熱によって溶解し、冷却によってゲル化する。

物理的性質（試験方法：JIS T 6512:2005）

弾性ひずみ (%)	8.1
永久ひずみ (%)	1.5
引裂強さ (N/mm)	0.8

【使用目的又は効果】

本材は、口腔内での印象採得に用いる。

【使用方法等】

	カートリッジタイプ	
加熱条件	溶解温度	温度：*98～100℃
	ドライ	時間：*15～17分間
	ウェット	時間：5～7分間
使用温度範囲	保存温度：60～65℃	
使用トレー及びシリンジの種類	歯科印象採得用トレー 寒天用カートリッジシリンジ	
石膏の種類	歯科用硬質石膏	

1) カートリッジを溶解温度約100℃に設定したコンディショナーで*15～17分間溶解します。

2) 溶解した印象材をストレージ温度(60℃～65℃)にて10分以上係留しますと使用可能となります。また、この温度で連続係留できる時間は8時間を限度とします。

◇寒天・アルギン酸塩連合印象に用いる場合

- 1) アルギン酸塩印象材を冷水で素早く練和してトレーに盛ります。
- 2) 歯牙に注入された寒天印象材の上から、アルギン酸塩印象材を盛ったトレーを圧接します。
- 3) アルギン酸塩印象材の硬化を確認後、印象内面にエアを吹き込み、内圧を解除し、歯軸方向にトレーを撤去します。
- 4) 印象面を確認し、水洗の後、印象面の水分を取り除き、すぐに石膏を注入し、保湿箱にて硬化させます。

【使用方法に関連する使用上の注意】

- 1) ドライタイプのコンディショナーでの溶解温度が100℃を越えた場合、破裂の恐れがあるので100℃を越えないこと。
- 2) 繰り返し溶解は品質劣化の恐れがあるため、最初の溶解で使い切ること。また本材は1日の使用量を判断し溶解すること。
- 3) 保存温度が低すぎるとゲル化してぼそぼそ状態になることがある。この場合、再溶解して保存温度の設定をあげること。
- 4) 寒天印象材やアルギン酸塩印象材のいずれかの表面が硬化を始めると、接着力が低下するのでタイミング良く行うこと。
- 5) ポスト印象の際には症例に応じて補強ピンを使用すること。
- 6) 印象採得後、直ちに石膏を流し、硬化後は速やかに撤去すること。石膏は歯科用硬質石膏を使用すること。
- 7) シリンジ針内でゲル化した寒天が詰まり、寒天が出ない場合は、清掃針で取り除くこと。
- 8) ①カートリッジタイプ
寒天用カートリッジシリンジの既販売品の中には針が短く、先

【使用上の注意】

- 1) 採得した印象は、血液、唾液などを十分に洗浄した後、必要に応じて消毒すること。
- 2) 印象採得する時に、高温すぎると組織に火傷が生じるので術者の手に少量採って、適温であることを確かめてから使用すること。

【重要な基本的注意】

- ①本材の使用により発疹などの過敏症状が現れた患者には使用を中止し、医師の診察を受けさせること。
- ②本材の使用により発疹などの過敏症状が現れた術者は使用を中止し、医師の診察を受けること。
- ③本材は目に入らないように注意すること。万一目に入った場合には、すぐに大量の流水で洗浄し、眼科医の診断を受けさせること。(術者の場合も同様)

【保管方法及び有効期間等】

【保管方法】

- ・本材は直射日光を避け、温度変化の少ないところで保管すること。禁凍結。

【有効期間】

本材は包装に記載の使用期限※までに使用すること。

【記載の使用期限は、当社データによる】

※(例)  YY/XXXX は→使用期限 XXXX年YY月末日を示す)

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売元
及び製造元 株式会社 クラーク
住 所 〒340-0832
埼玉県八潮市柳之宮屋敷通 223 番地 2
電 話 048-994-1825

販売元 株式会社 東京歯材社
住 所 〒110-0001
東京都台東区谷中 2-5-20
電 話 03-3823-7501